

NP0 法人 ふろんていあタウン工房

ふろタン通信

2018年7月12日 広報センター

No. 26



1. 6月22日付ふろタン通信**号外**でご案内した二つの行事の報告です。

① 6月30日(土)・7月1日(日) ミャンマー祭り2018

今迄は11月の恒例行事だった「ミャンマー祭り」が、今年は梅雨が明けた炎天下の2日間で開催されました。いつも通りの賑わいでしたが、「ミャンマーより暑いヨ！」と話しかけてくるミャンマーの人。今年も飲食コーナーに出店したピース・イン・ツアーとミンガラバー・ユネスコクラブの協働テントでは、安彦さん他スタッフ総動員で皆さん頑張っていました。風が通らないテントでの作業は大変な様子でした。



「この時期では屋外での食材の管理は無理」と常連だったココさんのミャンマー料理店「びるまの豎琴」が今年の出店をあきらめたのは賢明だったのかもしれない。

増上寺正門を入って直ぐ場所は、ご神木の木陰にも恵まれて涼しさを求めて多くの人が集まり、毎年同じ場所にある和田直子さんのミャンマー雑貨の店「daccoo」は、いつものように多くの女性客で賑わっていました。

「やっぱりミャンマー祭りは11月の方がイイね」という声が聞こえてきました。



② 7月2日(月) 「御嶽山登山道整備活動」

2014年9月27日の御嶽山噴火から4年を迎えようとしています。毎年7月2日行われてきた木曽ユネスコ協会と木曽御嶽奉仕会共催の登山道整備活動には、ふろタン工房も2015年から今年で4年連続の参加になります。昨年の参加メンバーの感想は「若者の参加がなくて年寄りにはシンドかった！」でした。



左は昨年の集合写真、右の写真は今年で、20名の林業大学校生が参加しています。「ヤバー」「シンド」と言いながら元気に登山道整備に取り組む若者たちと一緒に、年寄りも遅れないようにとついていきました。日野製薬の井原社長は前日の開山式からの連日の参加、夏山シーズンを迎えお忙しい毎日が続きます。剣ヶ峰頂上への慰霊碑建立も準備中とのこと、山頂までの入山再開ももうすぐなのかもしれません。

2. その他:二つのお知らせ

① ホームページに「ふろタン技研コーナー」が出来ました。

今年のふろタン総会後ホームページを少しモデルチェンジしました。新しくできた「ふろタン技研コーナー」を開くと「研究レポート発表コーナーです」と書かれていて、レポートの掲載はまだこれからですが、「二都物語研究会 30 回記録誌」が扉がわりに載っています。

「二都物語研究会」は「ふろタン工房」に先行してスタートした研究会で「フロンティアまちづくり読本」でもプロローグ・エピローグで詳しく紹介しています。今まではそれぞれに活動してきましたがこれからは色々と交流を図って行きたいと思います。

※①2011.3 ミャンマー連邦民政移管→②2012.3 建設省視察団来日→③2012.9 二都研スタート→④2013.3 URワンゲルピクトリア山登山→⑤2014.6 ふろタン工房スタート

② 国内専門ガイドが増えています。

赤川副理事長が本拠地を熱海に移してから、「熱海まち歩きガイドの会」に所属して活躍されているのは知れ渡っていますが、今度は事務局次長の高田さん、日本山岳ガイド協会の認定登山ガイドとして飯能で活動を始めました。まち歩きと山歩き！どちらでもご相談ください。